

砂川市認知症ケア向上推進事業  
第17回  
市民健康フォーラム

4年ぶり開催

認知症をあきらめない！

申込不要  
参加無料



●プログラム2

14時30分～15時30分

アルツハイマー病になった  
母が見た世界

齋藤正彦先生

(東京都立松沢病院 名誉院長)



ご案内役

内海久美子先生

(砂川市立病院 認知症疾患医療センター長)

2023年7月1日(土)

14:00～15:30

地域交流センターゆう

砂川市東3条北2丁目3-3

(JR砂川駅直結) ☎54-3111



●プログラム1

14時00分～14時25分

「よりよいねむりを考える」  
～くらしのヒントとくすりの話～

畠山茂樹先生

(砂川市立病院 精神科 診療部長)

主催 NPO法人中空知地域で認知症を支える会

お問い合わせ

砂川市立病院 認知症疾患医療センター TEL: 0125-54-2131

※認知症ケア専門士1単位付与 ※すながわ健康ポイント付与(会場で受け取ります)

## 講演概要「アルツハイマー病になった 母がみた世界」

認知症の専門医である齋藤先生。医師として息子として、死の2年前まで綴っていた母の日記から、アルツハイマー病になった母の生き方を振り返ります。時には現実から目をそらし、母を支える辛さから、自分が楽な方法を選んだのではないかと自身を責めた時もありますが、「私は、最後まで頼りにならない息子でしたが、母は死んでもなお、息子を気遣い、かばい、その不幸を許してくれました」…と。認知症になるとできないこと、分からないことが増えていく。その不安と焦りで、本人はとも辛い思いをしているということがよく分かります。

### 【齋藤正彦先生プロフィール】

1952年生まれ。東京大学医学部卒業。都立松沢病院精神科医員、東京大学医学部精神医学教室講師、慶成会青梅慶友病院副院長、慶成会よみうりランド慶友病院副院長、翠会和光病院院長などを経て、2012年都立松沢病院院長、21年から同病院名誉院長。医学博士、精神保健指定医。主な研究テーマは老年期認知症の医療・介護、高齢者の意思能力、行為能力に関する司法判断。「E T V特集 ドキュメント 精神科病院×新型コロナ」（2021年7月31日放送）

